



## 卒業生のみなさんへ

校長 大森 富美雄

「人はなぜ働かなくてはいけないのだろう？」……

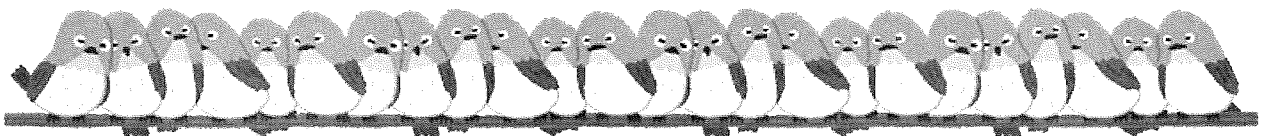
私は、時々本気でそう考えます。誰しも「一生遊んで暮らせたなら幸せだろうな」と、一度は考えたことがあると思います。

人が働く理由として一番初めに浮かんでくるのが「生きてゆくにはお金が必要だから」という考えでしょう。確かに、生きてゆくにはお金が必要です。では、宝くじで大金が手に入り、一生遊んで暮せる人は幸せなののでしょうか？ 十分なお金があれば、たくさん遊べるでしょうし、先々の生活の不安もなくなるかもしれません。でも、そのお金には、「汗水流して働いて、ようやくもらえた給料」というありがたみはありませんから、お金を大切にすること意識をもつことは難しくなるような気がします。私は、給料を初めて手にしたときの嬉しい気持ち、そして、「このお金は大切に使わないと！」と思ったことを、今でもはっきりと覚えています。



そして、もうひとつ大切なことは、働く理由はお金のためだけではないということです。私たちが働くということは、世の中のどこかで、必ず誰かの役に立っています。そのことを自分自身が確認できたとき、私たちは、本当に嬉しい気持ちになり、自分の仕事を誇りに思うようになります。

皆さんが卒業後に働き続けて辛くなったとき、労働によって得たお金の大切さ、そして、「働くのは、お金のためだけじゃない」ということを思い出してください。皆さんの健闘を祈ります。ご卒業おめでとうございます。





# 二つ橋スクールライフ

## 〇1年生

1 学年教室前のピオラの花が満開です。9月に環境・園芸の生徒全員で苗植えをしたものです。その数実に8000株、二つ橋の歴史の中でもこれだけの数を植えたのは初めてとのこと。生徒たちは朝早く登校し、水やりも続けました。10月、小さい株に花が一輪咲きました。でもその花をすぐに摘み取りました。せっかく咲いたのに、さらにたくさんの花を咲かせて大きくするための工程です。「本当にこれでよいのだろうか」と感じた生徒も中にはいました。そして2月、一株残らず花が咲きました。まだ小さい株のものもありますが、必ず後から出番がやってきます。「決してあきらめてはいけない!」と植物から言われているような気がします。



## 〇2年生

学習発表会・ステージ発表では合唱「予感」、ボディパーカッション、朗読劇「走れメロス」を披露しました。一年間、様々な行事を経験する毎に結束を深めてきた生徒達。今回の発表でも全体が調和すること、そして生徒一人ひとりの持ち味が表現されることを願い指導にあたってきました。授業参観や展示発表も含め、多くの保護者の皆さまに参観いただきありがとうございました。

職業コースの選択授業では一部の授業で試行期間が始まっています。選択クラスは生徒の適性や進路の方向性等を踏まえ編制しています。この期間は外部講師をお迎えして学ぶ授業も多く、内容もより実践的になっています。将来の自立に向かって働く気持ちをさらに高め、3学年へと進級して行ってほしいと思います。

## 〇3年生

『1月は行く、2月は逃げる、3月は去る』と言われるように忙しい時期ですが、卒業式が3月1日ということもあり、ほんとうにあっという間に時間が過ぎていく感覚です。生徒たちは2月10日の学習発表会に向け、学年や部活動、生徒会や委員会活動それぞれで準備をしてきました。短い時間での練習で、当日の発表はどうかと思いましたが、無事にそして立派に発表することができました。卒業遠足では東京ディズニーシーに行ってきました。天候にも恵まれ、二つ橋でのよい思い出が作れました。あとは卒業式当日に向けて、しっかり準備をして臨みたいと思います。社会人1年生に向けた準備を3月1日までは学校で、それ以降は自分自身で取り組めるように支援していきたいと思います。

## 〇保健室から



寒さが続く毎日です。二つ橋でも1月にはインフルエンザが流行しました。2月に入り少しずつ落ち着いてきています。しかし卒業式という大切な日がありますので、体調を崩さないように、ご家庭でも予防に力を入れていただければと思います。

この1年で皆さんはどれだけ成長したのでしょうか?きっと今までできなかったことができるようになったり、得意なことをさらに高めたりすることができたと思います。普段は、厳しい授業も多い本校ですが、1年を振り返りよいことも悪いこともひっくるめて「自分ってがんばった!」と認めてあげてください。それが4月からまたがんばれるエネルギーになるはずですよ。

〇「横浜市立二つ橋高等特別支援学校 Web サイト」

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/ss/futatsubashikoto/>

